

資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [教育活動](#) | [行動こそ真実②](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[🔍 キーワード検索はこちら](#)

行動こそ真実②

4、教える内容を「知識」と「技術」に分ける

具体的にどう教えたら、相手から「望ましい行動」を引き出せるのかを考えてみる。
あらかじめ教える内容を整理しておく必要がある。

なんのプランもなく、ただ頭に浮かんだことを漠然と教えていても相手に効果的に伝えることはできない。
まず最初に、教える内容を「知識」と「技術」に振り分けておくとよい。

「知識」は聞かれたら答えること、「技術」はやろうとすればできること。

こうしておけば相手のレベルに応じての対応も可能となる。

たとえば以下のような整理をしておくとういだろう。

	知識	技術
労働運動の例	労働基準法 労働組合法 労働関係調整法 憲法 民法	リーダーシップのとり方 民主的な組織運営のやり方 世話役活動のやり方 円滑で緊張感ある労使関係のとり方 労使紛争の処理
選挙運動の例	労働組合と政治活動の関係性 労働組合における政治行為の制約 政治活動と政党支持 公職選挙法 効果的な戦略立案	日常活動における労働組合に対する求心力 三重大行動原理の徹底 選挙活動における三つの基本事項を守る 後援会活動のやり方 訪問活動のやり方

[\(つづく\)](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)

